



2019年
6月26日
No.5

貨物労連情報

日本貨物鉄道労働組合連合会
発行人:高木康之
編集人:田中 清

貨物労組定期全国大会開催

6月23日～24日にかけてJR貨物労組第35回定期全国大会が開催されました。数多くの労連役員が来賓として参加し、代表して田中事務局長から連帯の挨拶がされました。



大広間での大交流会



挨拶に立つ田中事務局長

1日目終了後の大交流会には200名を超える参加者と共に、JR貨物グループで働く仲間たちとの交流を深めてきました。

夏季手当獲得のたたかい 多くの単組で妥結される

単組名	妥結額	妥結日
仙台臨海労組（鉄道）	1.0カ月+2万円	5/16
神奈川臨海労組	1.96カ月	5/24
仙台臨海労組（通運）	1.0カ月+1万円	6/10
JR貨物労組	1.75カ月	6/13
日倉労組	2.0カ月	6/18
南関東ロジ労組	1.45カ月	6/18
京葉臨海労組（鉄道）	2.1カ月	6/19
京葉臨海労組（通運）	〃	〃
FL労組	1.4カ月+1万円	6/20

物流業界は極度の要員不足が問題として、要員確保のために年々賃金が上昇する傾向にありますが、人材確保のためにはその流れを鉄道貨物輸送業界まで波及させる必要があります。

昨年度は西日本豪雨を始めとした多くの災害に見舞われながらも、収入確保に全力を挙げてきた組合員の奮闘に答えるように前年度実績を上回る回答がされた単組が報告されています。

まだ回答がされていない単組もあります。貨物労連一丸となって最後までたたかい抜こう！